

## 【背景・経緯】

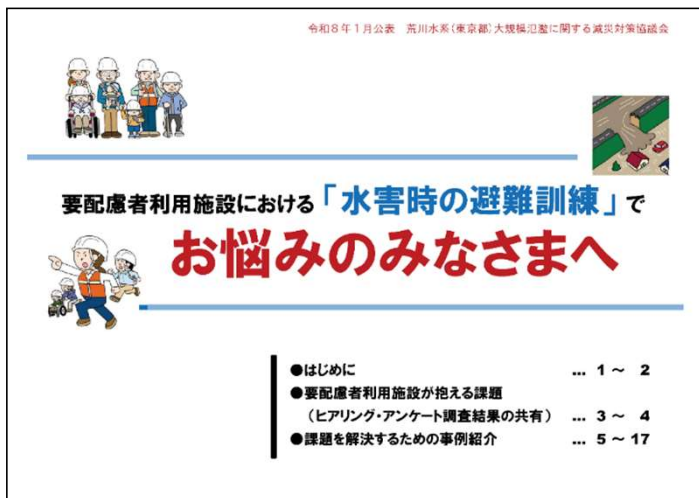
- R4年度 ・水防法等の一部改正により、**要配慮者利用施設の訓練結果の報告が義務付け**
- R4～5年度 ・協議会エリアの要配慮者施設に、計画作成・訓練実施の取組状況調査を実施
  - ・調査結果から、「計画作成」は一定程度進展、一方、「訓練実施」は約半数で未実施、苦慮実態を把握
- R6年度 ・実態を把握するためアンケート調査を実施し、**課題・要望等を踏まえた支援方策の検討を開始**
- R7年度 ・支援方策として「**水害時の避難訓練でお悩みのみなさまへ**」を作成、各自治体へ展開し、施設へ周知

「荒川水系(東京都)大規模氾濫に関する減災対策協議会」において、課題解決のヒントとなる事例集(水害時の避難訓練でお悩みのみなさまへ)を作成。

HPへの掲載や集会での配布により周知し、 避難訓練実施を促進、避難の実効性向上を図る。

## ■要配慮者利用施設における「水害時の避難訓練」でお悩みのみなさま (R8.1.16公表)

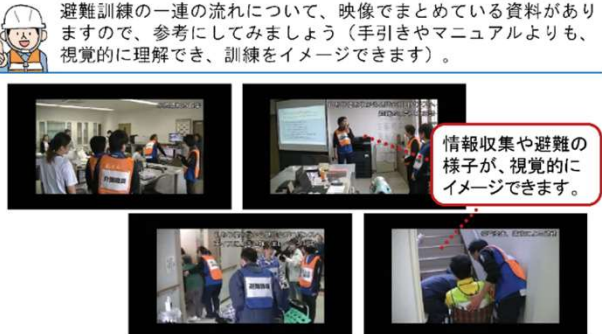
### 表紙



### 内容:課題解決に向けた参考事例の紹介

【課題②】どのように避難訓練を進めたらよいかわからない

避難訓練の一連の流れについて、映像でまとめている資料がありますので、参考にしてみましょう(手引きやマニュアルよりも、視覚的に理解でき、訓練をイメージできます)。



情報収集や避難の様子が、視覚的にイメージできます。

参考事例 ① HP中段の「避難訓練の映像(洪水編)」のリンクから映像を確認できます  
要配慮者利用施設における「洪水・土砂災害避難訓練の手引き」について:避難訓練の映像(洪水編) | 徳島県

URL <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ppannokata/kendozukuri/kasen/5025198/>

◎本パンフレットは、全国の事例を集約し、荒川流域だけでなく、他地域の要配慮者利用施設でも参考になるよう作成しました。

パンフレット  
↓掲載HP↓

<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00062.html>

パンフレット  
↓二次元コード↓



↑URL、二次元コードを読み取り、課題解決に向けた参考事例を確認

# 1. 訓練実施促進につながる広報資料の作成：②選定施設での避難訓練の実施支援

## ■ 短編映像のイメージ(図上訓練: デイサービスこまつな【江戸川区】)

### ① 訓練目的の設定



事前打ち合わせ

- ✓ まずは、現在の避難確保計画を確認しました。
- ✓ 初めての水害避難訓練となるため、図上訓練を実施し、全体像を整理・把握して課題を洗い出すこととしました。

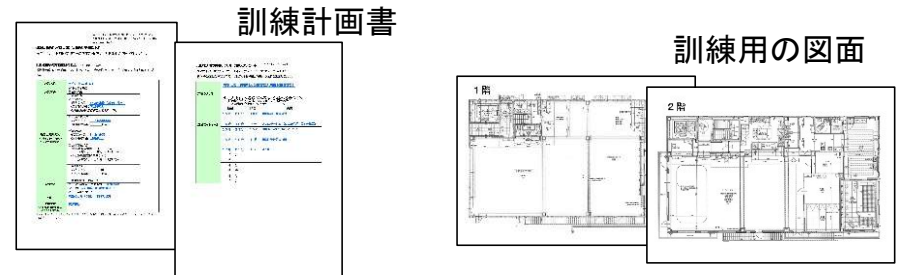
### ③ 訓練の実施



図上訓練(テーブルワーク)

- ✓ 図上訓練の事前に、地震・火災のときの避難と水害のときの避難の違いを説明し、ハザードマップで浸水リスクの確認しました。
- ✓ 図面で浸水が想定されている階に、普段は誰がいるか、浸水したら困るものは何がある等を確認しました。また、現在の避難確保計画のわかりづらい箇所や改善策を確認しました。

### ② 訓練の準備



訓練計画書

訓練用の図面

- ✓ 要配慮者利利用施設における避難訓練企画・運営マニュアル(案)(国土交通省関東地方整備局河川部 水災害対策センター)を活用し、訓練計画を立てました。
- ✓ 図上訓練用に階数別の図面、避難確保計画の拡大版や記入用のペン等を準備しました。

### ④ 施設担当者へのインタビュー



- ✓ 訓練実施後に、施設の担当者へ訓練の感想を伺いました。
  - 実際に自分たちがどう判断して、どう行動するか、施設の中で具体的な備品とかをどうしたらいいのかというイメージが分りやすかった。
  - 訓練の中で結構課題も多かったが、今回あがった課題を少しずつ改善できるように進めていければと思っている。

# 1. 訓練実施促進につながる広報資料の作成：②選定施設での避難訓練の実施支援

## ■ 短編映像のイメージ(垂直避難訓練：東京ケアヴィレッジ【江戸川区】)

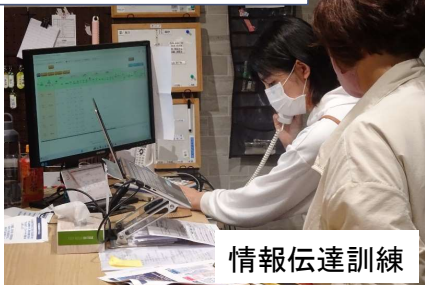
### ① 訓練目的の設定



事前打ち合わせ

- ✓ 施設担当者と現在の避難確保計画を確認しました。
- ✓ 利用者も含めて、屋内安全確保訓練(垂直避難)を実施することとしました。情報収集・伝達、避難準備も組み込み、一連の流れを確認することとしました。

### ③ 訓練の実施



情報伝達訓練



避難誘導

- ✓ 訓練の事前説明を実施し、地震・火災のときの避難と水害のときの避難の違いを説明しました。また、ハザードマップや荒川氾濫の動画を活用し、浸水リスクや水害のイメージを確認しました。
- ✓ 高齢者避難等の発令から訓練を開始し、職員で情報伝達を行い、順次利用者を上階へ避難誘導しました。
- ✓ 訓練後に、利用者から意見聴取を行い、その後、職員の担当者で振り返りを行いました。

### ② 訓練の準備



訓練計画書



訓練用のシナリオフロー

- ✓ 要配慮者利用施設における避難訓練企画・運営マニュアル(案)(国土交通省関東地方整備局河川部 水災害対策センター)を活用し、訓練計画を立てました。
- ✓ 地震、火災の訓練資料を基に職員の動きがわかるような水害避難訓練用のシナリオフローを準備しました。

### ④ 利用者への意見聴取、職員振り返り



利用者への意見聴取



職員振り返り

- ✓ 訓練後に、利用者から意見聴取を行い、その後、職員の担当者で振り返りを行いました。
- ✓ 訓練実施後に、施設の担当者へ訓練の感想を伺いました。
  - 車椅子誘導の際、扉に車椅子が引っかかってしまったため、動線の改善が必要。
  - 災害時は、担当職員が固定できないことも想定されるため、特定の職員に依存しない体制づくりが必要。